

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 016	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 カーネーションにおける夏期夜間冷房効果の検証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 地球温暖化によりカーネーション栽培においても次のような影響が見られる。 ①生育不良（茎の軟弱化） 7月から11月の生育期全般において高温の影響で茎が軟弱化し、品質低下ひいては収量減につながっている。 ②開花期の前進・遅延 定植後の強日射等により開花期が前進したり、高温による生育不良が遅延を起こす事例が見られる。需要の多い母の日に出荷を集中させる必要があることから、問題となっている。 遮光やこまめな灌水等が行われているが、さらに対応策としてバラで導入され効果が期待される夏期夜間冷房についてカーネーションでも効果を検証していただきたい。 県内カーネーション生産者40戸。うちヒートポンプ導入生産者（4戸、2000坪）。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 カーネーションの冷房試験についてはいくつか試験が行われており、最近兵庫県において夏期短時間夜間冷房試験が実施されています。スタンダードタイプを用い、6月中下旬定植の作型において摘心後7月中旬から9月下旬にかけて日没後4時間21℃冷房を行ったところ、開花が促進され年内の収量が増加するとともに、茎の硬さ等の切り花品質が向上したと報告されています。この結果から、夏期の短時間夜間冷房は生育不良防止や茎の軟弱化軽減につながると考えられます。 設備の都合上、冷房試験を行うことは困難ですが、兵庫県をはじめとした他機関における夏期冷房試験について今後も情報を収集し提供します。また、品種特性検定においては各品種の高温期における生育状態を調査し、あわせて情報提供します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			